

機能やサービスの
名前がわかっているとき

索引	📄 P.17-26
目次	📄 P.vi

したいことや目的が
決まっているとき

したいこと検索	📄 P.ii
索引	📄 P.17-26

この電話機でできること
を知りたいとき

できること検索	📄 P.iv
目次	📄 P.vi

画面の表示やマークの
意味を知りたいとき

機能一覧	📄 P.17-2
ディスプレイ	📄 P.1-7

この取扱説明書の内容を
知りたいとき

目次	📄 P.vi
各章目次	📄 各章扉

おかしいな…
故障かな？と思ったとき

故障かな？と思ったら	📄 P.17-10
保証とアフターサービス	📄 P.17-31

ご利用になる前に	1
電話	2
文字入力	3
電話帳	4
デジタルテレビ	5
カメラ	6
ニュース／エンタテインメント	7
メディア（音楽／動画）	8
データ管理	9
通信・外部接続	10
セキュリティ	11
ツール	12
メール	13
インターネット	14
S!アプリ	15
設定（カスタマイズ）	16
付録	17

新しい携帯電話を 友達に知らせたい

自分の電話番号を確認したい
自分の電話番号は、本機の画面で簡単に確認できます。

自分の電話番号を確認する  P.1-26

メールアドレスを変更したい
お好きなメールアドレスに変更できます。

メールアドレスの変更  P.13-4

自分だけの 携帯電話に カスタマイズしたい

**着うたフル®などを着信音に
設定したい**
着信音選択で着うたフル®を選ぶだけでOKです。

着信音の変更  P.16-2

**お気に入りの着うたフル®を
入手したい**
簡単なメニュー操作で着うたフル®
サイトからダウンロードできます。

音楽のダウンロード  P.8-3

とにかく早く 基本操作を知りたい

操作の基本を知りたい
メニューからの機能選択が操作の基本です。ボタンの使いかたなども覚えておきましょう。

機能の呼び出しかた  P.1-15、P.1-18
各部の名称と機能  P.1-4

すぐに電話をかけたい
音声電話はもちろんテレビ電話も利用できます。

音声電話をかける  P.2-2
TVコールをかける  P.2-6

電話やメール以外 でも楽しく便利に 使いたい

ワンセグでテレビを視聴したい
チャンネルを設定するだけで、すぐにワンセグの番組視聴や録画ができます。



デジタルテレビ  P.5-1

音楽プレイヤーとして使いたい
音楽のダウンロードも簡単にできます。



ミュージックプレイヤー  P.8-2

電話帳に自分の情報を登録したい

自分のメールアドレスや住所などを登録しておくと、友達に情報を伝えるときなどに便利です。

オーナー情報  P.4-12

友達に一齐にアドレスを伝えたい
メールを送るだけで伝えられます。
複数の人にも、同じメールを同時に送信できます。

メール送信  P.13-4
宛先を追加／編集／削除する  P.13-9

近くの友達にアドレスを伝えたい
赤外線通信が便利です。オーナー情報に自分のメールアドレスを登録してから操作しましょう。

赤外線送信  P.4-12

待受画面をアレンジしたい

壁紙を利用しましょう。選んだ壁紙の上に時計やカレンダーを表示できます。

壁紙登録  P.9-5
ディスプレイ設定  P.16-3

メニューをアレンジしたい
よく使う機能をプライベートメニューに登録すると、少ない操作でその機能呼び出せます。

プライベートメニュー  P.1-21

各機能を手早く使いたい
よく使う機能のショートカットを待受画面上に登録すると、すぐにその機能呼び出せます。

ショートカットアイコン  P.1-18

文字入力のしくみを覚えたい

メールや電話帳では文字入力が必要です。便利な入力機能も活用しましょう。

文字入力  P.3-1

メールを使ってみたい
メールを目的に応じて使い分けましょう。表現力豊かなメールも利用できます。

メール  P.13-1
デコレメール  P.13-6

インターネットを利用したい
ソフトバンクならではのYahoo!連動サービスが利用できます。

インターネット  P.14-1

カメラ／ビデオとして使いたい

カメラで静止画や動画を撮影できます。



カメラ  P.6-1

ゲームを楽しみたい

S!アプリを使ってみましょう。Yahoo!ケータイからダウンロードもできます。

S!アプリ  P.15-1



最新ニュースが知りたい
最新ニュースなどを登録したコンテンツの最新情報を確認できます。

S!速報ニュース  P.7-5

本機だから できること

防水／防塵性能

雨の中やキッチン、プールサイドなどの水際でも使用できます。

📖P.xx

災害用音声お届けサービス

大規模災害発生時、音声通話がつながりにくくなった場合に、パケット通信で音声メッセージをお届けします。

📖P.2-17

ソフトバンクの 携帯電話だから できること

Yahoo!ケータイ

ソフトバンクケータイ専用のポータルサイトを提供。インターネットをより便利に利用できます。

📖P.14-3

デコレメール

メール本文の文字色や背景などをデコレーションしたり、画像などを挿入して表現豊かなHTMLメールを作成できます。

📖P.13-6

おなじみの機能も さらに使いやすく

電話帳／S!電話帳バックアップ

本機の電話帳は基本機能が充実。大切な電話帳の控えはオンラインサーバーにバックアップし、保管することもできます。

📖P.4-1、P.4-10

カメラ

約5.1メガピクセルの高精細カメラを内蔵。オートフォーカス機能が付いているから、簡単キレイに撮影できます。

📖P.6-1

パソコンをはじめ 生活に便利な機器と 親密な関係に

PCサイトブラウザ

パソコン用サイトをフル表示。パソコン並みの情報表示を可能にします。

📖P.14-5

データバックアップ／管理

本機とパソコンの間でデータをやりとり。バックアップや編集ができます。

📖P.10-9

拡大表示

メールやインターネット、発着信履歴などの表示を個別または一括で拡大文字に設定できます。また、メインメニューを拡大することもできます。

📖P.1-20

緊急速報メール

気象庁が配信する「緊急地震速報」や「津波警報」、国や地方公共団体が配信する「災害・避難速報」などを本機で受信し、表示できます。

📖P.13-28

シンプルメニュー

表示するメニューを基本的な機能に絞り、簡単な操作で使えるようにしたメニューです。

📖P.1-22

楽デコ

メールをらくらくデコレーション。本文のキーワードから自動的に絵文字、文字色、文字サイズ、背景色を追加／変更します。

📖P.13-7

S!情報チャンネル

さまざまな情報を自動的に受信できる情報サービスです。画面で天気をお知らせするサービス（お天気アイコン）も利用できます。

📖P.7-2

カレンダー／アラーム

予定を登録して管理できます。アラーム機能は、目覚ましやスケジュールの事前通知としても利用できます。

📖P.12-2、P.12-6

ミュージックプレイヤー

本機を携帯音楽プレイヤーとしても使用できます。音楽CDをパソコンに取り込み、microSDカードに保存して聴くことができます。

📖P.8-2

デジタルテレビ

ワイド画面で地上デジタル放送（ワンセグ）の番組を楽しめます。番組録画もできます。

📖P.5-1

Bluetooth®

ワイヤレス接続方式Bluetooth®に対応。外部スピーカーと接続すれば、デジタルテレビの音声が迫力サウンドで楽しめます。

📖P.10-4

microSDカード

大容量データの保存が可能なmicroSDカードに対応。パソコンとのやりとりも手軽に行えます。

📖P.9-13



目次

目次	vi
お買い上げ品の確認	viii
本書の見かた	viii
安全上のご注意	xi
お願いとご注意	xviii
防水／防塵性能について	xx
著作権などについて	xxiv
携帯電話機の電波比吸収率（SAR）について	xxvi
Safety Precautions	xxviii
Handling Precautions	xxxiv
Waterproofing/Dustproofing	xxxix
Copyrights	xlii

1. ご利用になる前に

USIMカードのお取り扱い	1-2
各部の名称と機能	1-4
電池パックと充電器のお取り扱い	1-9
電源を入れる／切る	1-12
マナーモード	1-13
ボタン操作で機能呼び出す	1-15
待受画面に表示される情報	1-17
お好みの画面表示に変更する	1-19
プライベートメニューを利用する	1-21
シンプルメニューを利用する	1-22
複数の機能を同時に起動する	1-24
のぞき見されないように設定する （ビューブラインド）	1-25
暗証番号	1-25
自分の電話番号を確認する	1-26

2. 電話

電話のかけかた／受けかた	2-2
TVコールのかけかた／受けかた	2-6
国際電話の利用	2-9
通話中の機能	2-11
履歴の確認／利用	2-13
メッセージ／通話の録音	2-15
災害用音声お届けサービスの利用	2-17
オプションサービス	2-18

3. 文字入力

文字入力について	3-2
文字の入力方法	3-3
文字の変換機能	3-6
文字の編集	3-8
ユーザー辞書	3-9
ダウンロード辞書	3-10

4. 電話帳

電話帳について	4-2
電話帳の登録	4-3
電話帳の検索／利用	4-6
電話帳の管理	4-9
S!電話帳バックアップ	4-10
オーナー情報	4-12
ボイスダイヤル	4-13

5. デジタルテレビ

デジタルテレビについて	5-2
チャンネルの設定	5-4
デジタルテレビの視聴	5-5
TVリンクの利用	5-10
番組の録画／再生	5-11

6. カメラ

カメラをご利用になる前に	6-2
静止画／動画の撮影	6-6
撮影時の機能	6-8
撮影した静止画／動画の確認	6-12

7. ニュース／エンタテインメント

S!情報チャンネル／お天気	7-2
S!速報ニュース	7-5
無料コンテンツ	7-6
ブログ投稿	7-7

8. メディア（音楽／動画）

音楽を聴く（ミュージックプレイヤー）	8-2
動画を見る	8-11

9. データ管理

データフォルダについて	9-2
保存されているファイルの確認	9-4
静止画の利用／編集	9-9
フォルダ／ファイルの管理	9-11
microSDカードの利用	9-13

10. 通信・外部接続

赤外線通信	10-2
Bluetooth®	10-4
ソフトバンクユーティリティソフト	10-9
USB	10-10

11. セキュリティ

端末暗証番号の変更	11-2
ロック機能	11-2
発着信／送受信の制限	11-9
ケータイ機能制御	11-13
お買い上げ時の設定に戻す	11-14

12. ツール

カレンダー	12-2
予定リスト	12-5
アラーム	12-6
電卓	12-8
メモ帳	12-8
録音機能	12-9
バーコードリーダー	12-10
簡易位置情報	12-12

13. メール

メールについて	13-2
メール送信	13-4
メール受信／確認	13-12
メールの管理／利用	13-17
PCメールの利用	13-25
緊急速報メールの利用	13-28

14. インターネット

インターネットについて	14-2
Yahoo!ケータイの利用	14-3
パソコン用サイトの利用	14-5
情報画面での操作のしかた	14-6
情報の利用	14-8
情報表示中の操作	14-12

15. S!アプリ

S!アプリをご利用になる前に	15-2
S!アプリの利用	15-3

16. 設定 (カスタマイズ)

音／バイブレータ設定	16-2
ディスプレイ設定	16-3
マナーモード設定	16-6
着信に関する設定	16-7
時計設定	16-7
通話設定	16-8
イルミネーション設定	16-9
文字入力に関する設定	16-9
電話帳設定	16-10
ボイスダイヤル設定	16-11
TVコール設定	16-11
デジタルテレビ設定	16-12
カメラ設定	16-14
S!速報ニュース設定	16-15
Bluetooth® に関する設定	16-16
簡易位置情報に関する設定	16-17
メール設定	16-17
インターネット設定	16-20
S!アプリ設定	16-22

本体色ごとのお買い上げ時の

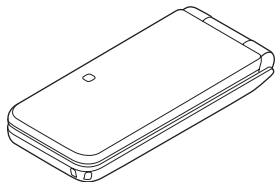
設定内容	16-23
各種機能の設定内容を確認する	16-24

17. 付録

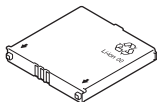
機能一覧	17-2
故障かな?と思ったら	17-10
ソフトウェア更新	17-12
メニュー番号一覧	17-14
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧 (かな方式)	17-15
ダイヤルボタンの文字割り当て一覧 (2タッチ方式)	17-16
記号一覧	17-17
区点コード一覧	17-18
お天気アイコン一覧	17-23
メモリ容量一覧	17-24
主な仕様	17-25
索引	17-26
保証とアフターサービス	17-31
お問い合わせ先一覧	17-32

お買い上げ品の確認

□301P本体



□電池パック (PMBBH1)



□クイックスタート

□お願いとご注意

□保証書

お知らせ

- 本機の充電には、ソフトバンクが指定した充電器（オプション品）を使用してください。
- 本機の充電器および、その他の付属品・オプション品につきましては、お問い合わせ先（☎P.17-32）までご連絡ください。
- 本機は、microSDカードを利用できますが、本製品にはmicroSDカードが同梱されていません。microSDカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のmicroSDカードをご購入ください。（☎P.9-13）

本書の見かた

本書での表記や画面表示について

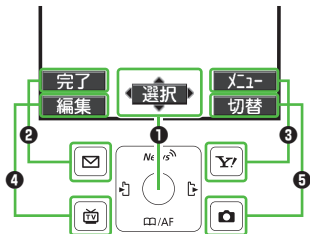
本書において、あらかじめご了承ください内容

- 「SoftBank 301P」を「本機」と表記しています。
- 「microSDカード」、「microSDHCカード」を「microSDカード」と記載しています。
- 手順や画面は、本体色**パールミント**のお買い上げ時の設定で記載しています。（☎P.16-23）
- 説明用画面およびイラストは、実際の画面表示や字体、形状などと異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。
- ボタンを押す操作は、簡略なボタンイラストを使用しています。
- 特に説明がない限り待受画面から操作を開始する手順を記載しています。
- ボタンを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

ナビゲーションボタン(ナビボタン)／ソフトボタンについて

画面下部に表示されているナビゲーション表示の内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。

例)



●画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

ナビゲーションボタン (①) を押す表記について

本書では次のように表記しています。



ソフトボタン (②③④⑤) を押す表記について

本書では次のように表記しています。

例②③) [完了]、[メニュー]

- [完了]、[メニュー]は上記の例の場合です。
表示は画面によって変わります。

操作手順の表記について

- ここで記載している操作手順や応用操作の内容は説明用のイメージです。実際の内容とは異なります。

手順記載の簡略化

本書では次のように設定操作手順を簡略化して記載している箇所があります。

例1)

A メインメニューからの選択操作 B 詳細手順

メインメニューから 電話機能▶グループ設定

- USIMカードのグループには「[]」が表示されます。

1 グループを選んで [編集] → 項目を選択 → 内容を設定

A メインメニューからの選択操作

- 1 待受画面で [] を押し、メインメニューを表示させます。
- 2 メインメニューで [] を押して電話機能を選び、
[選択] を押します。
- 3 電話帳の画面で [] を押してグループ設定を選び、
[選択] を押します。

B 詳細手順

- 1 グループ設定の画面で [] を押してグループを選び、
[編集] を押します。
- 2 グループ編集の画面で [] を押して項目を選び、
[選択] を押します。
- 3 それぞれの項目で内容を設定します。

例2)

C チェックボックス選択操作

- 1 → 設定
- 2 一般設定 → メールセキュリティ設定
- 3 端末暗証番号を入力 → 項目にチェック
→ [完了]

C チェックボックス選択操作

- 1 選択するには、を押して項目を選び、を押します。
項目の左端のマークが「」に変わります。
この操作を繰り返して、複数の項目を選択できます。
- 2 選択を解除するには、を押して「」の付いた項目を選び、を押します。
選択が解除されると、チェックマークが消えます。

応用操作をまとめて記載

主な操作手順の他に、使いこなす機能や設定を変更して使う機能がある場合は、次のようにまとめて記載しています。

例)

こんなこともできます！

- 宛先に関する機能 (👉P.13-9)
- メール作成中の機能 (👉P.13-10)

設定 ●常に配信確認をする (👉P.16-17)

設定 16章「設定 (カスタマイズ)」を参照してください。

共通操作 / 操作開始条件の記載

「**設定** 設定 (カスタマイズ)」のページなど、共通の操作が多い場合は、共通の操作や操作を開始する条件を次のように記載しています。

例)

A 共通操作

各操作を始めるまでの共通操作を記載しています。

共通操作 ▶ **メインメニューから ツール ▶ カレンダー**

■ カレンダー画面で利用できる機能

> 日付を選んで[メニュー]→項目を選択 (下記参照)

項目	操作・補足
新規登録	新しいスケジュール、休日、記念日を登録します。(👉P.12-2、P.12-3)
1ヶ月表示/ 1週間表示	カレンダー画面の表示を1ヶ月/1週間に切り替えます。

B 操作手順

共通操作のあとに行います。

■ その他のデコレーションを利用する

> S!メール本文入力中に→項目を選択

C 操作開始条件

操作を開始する条件を記載しています。上記例の場合は、S!メールの本文入力中の画面から操作を開始します。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。

	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、充電器（オプション品）、microSDカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

危険

-  高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

-  本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



本機内部・電池パック・充電器を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。

使用場所、取り扱いにご注意ください。



本機に使用する電池パック・充電器・卓上ホルダー（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。



警告



本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



充電端子や外部接続端子、microSDカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。



本機が濡れている状態で充電しないでください。

感電やショートによる火災・故障などの原因となります。



プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. 充電器を持ってプラグをコンセントやシガーライタースケットから抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。



注意



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレーション（振動）を設定中や充電中は、特にご注意ください。



乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて



危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池



火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。



警告



電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。



注意



不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて



警告



自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。イヤホンマイクをご利用の場合でも、外部の音が聞こえにくくなり、交通事故の原因となります。また、都道府県によっては条例違反となる場合があります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。



心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。



屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。



注意



車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。

本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。



破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ背面	ABS／UV塗装
	ディスプレイ面、電池面	PC／UV塗装
	電池面（ヒンジ側）	ABS
外部接続端子		ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子キャップ	取り付けピン部	ポリエステル系エラストマー
	パッキン	シリコンゴム
	本体	PC／UV塗装
カメラパネル、ディスプレイパネル		PMMA／ハードコート
充電端子		黄銅／ニッケルメッキ、ニッケルパラジウムメッキ、金メッキ
操作ボタンシート部		アクリルウレタン
着信／充電ランプ		PC／スズ蒸着、UV塗装
電池カバー	パッキン	シリコンゴム
	本体	PC／UV塗装
電池収納面		ガラスエポキシ／銅、ニッケルメッキ、金メッキ、レジスト印刷

使用箇所		材質／表面処理
電池端子	樹脂部分	PPS
	端子部	ベリリウム銅／ニッケルメッキ、ニッケルパラジウムメッキ、金メッキ
電池パック	樹脂部分	PC
	端子部	ガラスエポキシ／ニッケルメッキ、金メッキ
	ラベル	PET／シリコンニス
ネジ（電池カバー内）		鉄／亜鉛メッキ
ヒンジ部	ディスプレイ背面側 ヒンジ中央部分	ABS／UV塗装
	ディスプレイ面側 ヒンジ中央部分、 ヒンジホルダー、 ヒンジ両端部分	PC／UV塗装
銘板シール		PET
microSD カード挿入口	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	樹脂部分	LCP



本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。



デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。



イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

充電器（オプション品）の取り扱いについて



警告



充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。



指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用する、火災や故障などの原因となります。
急速充電器：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災などの原因となります。



雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。



充電器は、風呂場や洗面所など湿気の多い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。



濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。



シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。



プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。



充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。



長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。



万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってプラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。



注意



充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。



充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて



警告

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会【平成9年4月】）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携帯および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- ・手術室・集中治療室（ICU）・冠動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- ・病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ・ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：電波OFFモード）に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障、修理などにより本機やmicroSDカードに登録したデータ（電話帳・画像・音楽など）が消失・変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やデジタルテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・デジタルテレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やデジタルテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。従って、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用する、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- microSDカード（市販）をご利用される場合は、あらかじめmicroSDカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときは第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
 - ・ 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものと有害なものもあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。

お取り扱いについて

- ご使用前に、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを確実に取り付けている状態にしてください。本機の内部に水や粉塵が侵入して故障の原因になることがあります。
- 本機の内部に水や粉塵が侵入したことによる故障は、保証期間内であっても、保証の対象外となる場合があります。
- 雨の中や水滴がついたままの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップ、電池カバーの開閉は行わないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。
- エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する場合があります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量の少ない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください。（お風呂などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）
極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 電池パックの使用条件によっては、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけたりしないようご注意ください。

- 本機に無理な力がかかるような場所には置かないでください。
 - ・ 本機をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
 - ・ 荷物のつまった鞆などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 本機の銘板シールをはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。
- 電池パックを取り外すときは、必ず本機の電源を切ってから取り外してください。急速充電器を接続して充電しているときは、必ず急速充電器を取り外したあと、本機の電源を切ってから取り外してください。またデータの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られています。画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。
- 本機の外部接続端子に指定品以外のものは取り付けしないでください。誤動作を起こしたり、本機が破損することがあります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、イヤホンの音量を上げないでください。周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

機能制限について

- 本機は、USIMカードが取り付けられていない状態では使用できません。

通話中／通信中の制限について

- 通話中／通信中は、同時にほかの機能を使用したり各種操作を行っている間でも、通話料／通信料がかかります。

カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをして、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
- 撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

Bluetooth®機能について

- 本機はすべてのBluetooth®対応機器との接続／動作を保証するものではありません。
- Bluetooth®機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®の標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境や設定内容などによってはセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®機能で通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。
 - 1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
 - 3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、お問い合わせ先（☎P.17-32）までご連絡ください。

周波数帯について

- 本機のBluetooth®機能が使用する周波数帯は次のとおりです。



- ・ 2.4GHz帯を使用する無線機器です。変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。
- ・ 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。
- ・ ご利用の国によってはBluetooth®の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

防水／防塵性能について

本機は外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを確実に取り付けて隙間や浮きがない状態でIPX5^{*1}、IPX7^{*2}の防水性能およびIP5X^{*3}の防塵性能を有しています。

- ※1 内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を保つことを意味します。
- ※2 常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことを意味します。
- ※3 保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機としての機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

（注）実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。浸水や異物混入を防ぎ、安全にお使いいただくために、本書をよくお読みになってからご使用ください。お客様の取り扱い不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

雨の中やキッチン、風呂場、プールサイドなどの水際でもご使用できます。

■ 雨の中

- 雨の中、傘をささずに濡れた手で通話できます。
 - ※ やや強い雨（1時間の雨量が20mm未満、ザーザーと降り、地面からの跳ね返りで足元が濡れる程度）まで
- 強い雨（1時間の雨量が20mm以上の土砂降り）の中では使用しないでください。

■ 洗う

- 本機が汚れた場合は、洗面器などに張った常温の真水、水道水に浸けて静かに振り洗いをしたり、やや弱めの水流（蛇口やシャワーから約10cm、5℃～35℃）に当てながら手で洗うことができます。
- 電池カバーをしっかりと取り付けた状態で、外部接続端子キャップを押さえたまま洗ってください。
- 洗うときは、ブラシやスポンジ、石けん、洗剤などを使用しないでください。



■ レジャー

- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水や海水がかかった場合は常温の水道水で洗ってください。



■ お風呂

- 浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉には浸けないでください。
- 肌に痛みを感じるほどの強い水流を直接当てないでください。
- お風呂場での長時間のご使用はお避けください。
- 寒いところから暖かいお風呂場などに本機を持ち込むと、急激な温度変化による結露の原因となります。本機が常温になってから持ち込んでください。



■ キッチン

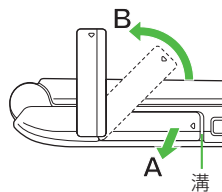
- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど、真水、水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- お湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。
- 強い水流を当てないでください。

ご使用にあたっての重要事項

- ご使用前に、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。
- 外部接続端子キャップ、電池カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。
- 常温の真水、水道水以外の液体に浸けないでください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品の交換を行うことをおすすめします。部品の交換は本機をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先（P.17-32）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

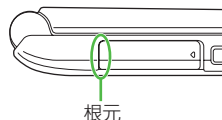
■ 外部接続端子キャップの開けかた

- ① 溝に指先をかけてAの方向に引っ張り出したあと、Bの方向に回転させる



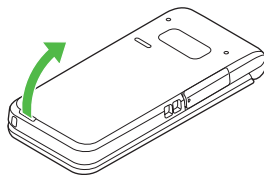
■ 外部接続端子キャップの閉じかた

- ① キャップを本機と平行に揃え、キャップの根元部分をしっかりと押さえながら押し込む
- ② キャップ全体に浮きがないことを確認する



■ 電池カバーの取り外しかた

- ① 溝に指先をかけて矢印の方向に持ち上げ、指で少しずつ電池カバーを浮かせるようにして取り外す

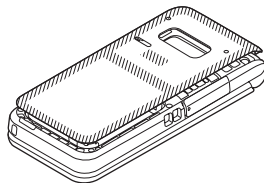


■ 電池カバーの取り付けかた

- ① 電池カバーの方向を確認して本体に合わせるように装着したあと、浮いている箇所がないように、図の斜線部分をしっかりと押し、取り付け

・電池カバー周辺（特にパッキン）にゴミや汚れがないことを確認してから取り付けてください。

- ② 本体と電池カバーの間にすき間がないことを確認する



注意事項

■ 本機について

- 水滴が付着したまま放置しないでください。
 - ・ 外部接続端子がショートする恐れがあります。
 - ・ ヒンジ部などのすき間から水分が入り込む場合があります。また、寒冷地では、凍結するなど、故障の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 本機は耐熱設計ではありません。お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。破損により防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。

- 本機は水に浮きません。
- 本機は耐水圧設計ではありません。強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
 - ・ 送話口、受話口、スピーカー部の穴などに水滴や砂などが入り、音量が小さくなったり音が割れたりする恐れがあります。
 - ・ 外部接続端子キャップ、電池カバーに砂などがわずかでも挟まると水や粉塵が浸入する原因となります。砂などが付着した場合はボタン操作をせず、所定の方法で洗ってください。
- 砂や泥などをきれいに洗い流せていない状態で使用すると、傷や故障の原因となります。

■ 外部接続端子キャップ、電池カバーについて

- 手袋などをしたまま開閉しないでください。パッキンの接着面に微細なゴミが付着する場合があります。
- 乾いたきれいな布で水分を拭き取る際は、パッキンに繊維が付着しないようにご注意ください。
- パッキンをはがさないでください。また、キャップのすき間に先の尖ったものを差し込まないでください。パッキンが傷つき、水や粉塵が浸入する原因となります。
- キャップのパッキンが傷ついたり変形したりした場合は、パッキンを交換してください。

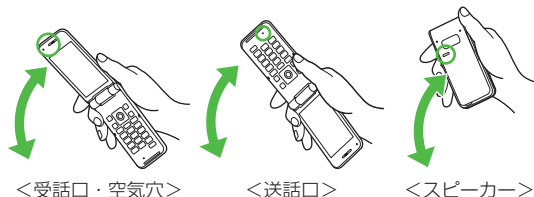
■ 送話口、受話口、空気穴、スピーカー部について

- 送話口、受話口、空気穴、スピーカー部の穴に綿棒を入れたり、尖ったものでつつかないでください。
- 水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。

水抜きのかた

本機に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、音質が変化する場合があります。また、ヒンジ部などのすき間から水分が入り込んでいる場合がありますので、次の手順で本機の水分を取り除いてください。

- ① 本機表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る
- ② 本機を確実に持って、各面を少なくとも20回程度、水滴が飛ばなくなるまでしっかり振る



- ③ 乾いたきれいな布に本機を軽く押し当て、送話口、受話口、空気穴、スピーカー、ヒンジ部などのすき間に入った水分を拭き取る
・ すき間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。



- ④ 十分に水分を取り除いてからご使用ください

上記の手順を行っても、本機に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。また、水が染み出ることがありますので濡れては困るものをそばに置かないようにご注意ください。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点を確認してください。

- 本機が濡れた状態では絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。本機が濡れたときはよく水抜きをして乾いたきれいな布で拭き取ってから充電してください。
- 充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。

著作権などについて

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものに付きましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

●お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされていません。

●画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVCビデオ）を記録すること。

●個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本書では各OS（日本語版）を次のように記載しています。

Windows® 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。

Windows® 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

Windows Vista®は、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。

Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system、またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。



アプリックス、microJBlend 及びJBlend、並びに、アプリックスまたはJBlendに関連する商標並びにロゴは、米国、日本国及びその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「待ちうた®」はKDDI株式会社の登録商標です。

本製品にはGNU General Public License (GPL v2)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL v2またはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。

本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担いただくことを条件として、機器による読取が可能なGPL v2/LGPLが適用されるソースコードの複製物を提供いたします。

＜お問い合わせ先＞

pmc-cs@gg.jp.panasonic.com

また、ソースコードは以下のウェブサイト経由で入手することもできます。

<http://panasonic.jp/mobile/gpl-s/>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはご手持ちのパソコンをご利用ください。

当該ソフトウェアに関する詳細 (GPL v2/LGPLの各ライセンス文含む) は、メインメニューから「設定」→「一般設定」→

「GPLライセンス等について」でご確認ください。



Bluetooth®

Bluetooth® is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Panasonic Mobile Communications Co., Ltd. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

本製品のBluetoothソフトウェア・スタックは株式会社東芝が開発したBluetooth™ Stack for Embedded Systems Spec 2.0を搭載しております。

Powered by MascotCapsule®

MascotCapsule® is a registered trademark of HI CORPORATION © 2014 HI CORPORATION. All Rights Reserved.

NetFront®
Mobile Client Suite

ACCESS™

本製品は (ソフトバンク携帯電話の一部では)、インターネットブラウザおよびメールとして、株式会社ACCESSのNetFront Browser およびNetFront Messaging Clientを搭載しています。

Copyright © 2004-2013 ACCESS CO., LTD.

ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

本製品のソフトウェアの一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

IrFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

The IrDA Feature Trademark is owned by the Infrared Data Association and used under license therefrom.

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) のiWnnを使用しています。iWnn@OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2013 All Rights Reserved.

本製品に搭載している「楽デコ」は、株式会社アクロディア「絵文字 Lite®」の知的財産権によって保護されています。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

COLOR LIFE、TVコール、S!アプリ、S!メール、きせかえアレンジ、デコレメール、S!情報チャンネル、PCサイトブラウザ、お天気アイコン、S!速報ニュース、S!電話帳バックアップ、安心遠隔ロック、楽デコ、PCメールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の電波比吸収率（SAR）について

この機種301Pの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準^{*1}は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg ^{*2}の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機301PのSARは 0.838W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用になる場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.0センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します（※3）。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
- ※2 平成9年に（旧）郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。
- ※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.853W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機301Pでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保つ位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）

<http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機301Pは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.801W/kgです。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

<http://www.who.int/emf>

SoftBank 3G 各種種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

Safety Precautions

- For proper handset use, read Safety Precautions carefully beforehand. Keep this guide in a safe place for future reference.
- Safety Precautions contain information meant to prevent injury to the user or others, or property damage, and must be observed at all times.
- SoftBank Mobile is not liable for any damages resulting from use of this product.
- These labels indicate the degree of risk from improper use. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

	Danger	Great risk of death or serious injury from improper use
	Warning	Risk of death or serious injury from improper use
	Caution	Risk of minor injury or damage to property from improper use

- These symbols indicate prohibited or compulsory actions. Make sure you thoroughly understand their meanings before reading on.

	Prohibited actions
	Disassembly prohibited
	Exposure to liquids prohibited
	Use with wet hands prohibited

	Compulsory actions
	Unplug AC Charger from outlet

Handset, Battery, USIM Card, AC Charger (Sold Separately) & microSD Card (Sold Separately)



-  Do not use or leave handset or related hardware in locations subject to high temperatures, such as near an open flame/heater, in sunlight or inside a car on an extremely hot day.
Do not charge, leave, use, or be carrying handset or related hardware in a warm place or where heat collects, such as under a kotatsu (blanketed warming table) or electric blanket, next to a kairo (worn warming patch), etc.
Battery may leak, overheat, explode, or ignite. Handset or related hardware may deform or malfunction. Part of the casing may also become hot and cause burns.

-  Do not use excessive force to attach Battery or connect AC Charger to handset. Battery or connector may be the wrong way around.
Battery may leak, overheat, explode or ignite.



Do not disassemble, modify or solder handset or related hardware.

May cause accidents such as fire, injury, electric shock or equipment malfunction. Battery may leak, overheat, explode or ignite.
Modifying handset is a violation of the Radio Law and subject to prosecution.



Do not expose handset internal parts, Battery and AC Charger to liquids.

If handset interior, Battery or AC Charger is left wet or Battery is charged after exposure to liquids such as water or pet urine, overheating, electric shock, fire, injury or malfunction may occur. Be mindful of location when using handset, Battery and AC Charger.
Handle with care.



Use specified Battery, AC Charger and Desktop Holder (sold separately).

Battery may leak, overheat, explode or ignite, and AC Charger may overheat, ignite or malfunction.



Warning



Do not place handset, Battery or AC Charger inside cooking appliances, such as microwave ovens or high-pressure containers, or on IH cooking heaters.

Battery may leak, overheat, explode or ignite. Handset or AC Charger may overheat, emit smoke, ignite or malfunction.



Do not drop, throw or otherwise subject to strong force or impact.

Battery may leak, overheat, explode, ignite, or cause electric shock or damage to handset.



Do not allow liquids (water, pet urine, etc.) or conductive objects (pencil leads, metal parts, necklaces, hair pins, etc.) to contact Charger terminals, External Device Port terminals or microSD Card slot.

May cause fire or malfunction triggered by short-circuit.



Do not charge Battery while handset is wet.

May cause electric shock or short-circuit, resulting in fire, malfunction, etc.



Keep handset off and AC Charger disconnected near propane gas, in filling stations or places where dust or flammable gas is generated.

Handset use in such areas may lead to fire.



If handset, Battery or AC Charger emits an unusual sound, smoke or odor, perform following steps:

1. Unplug AC Charger/In-Car Charger.
 2. Power off handset.
 3. Remove Battery. (Take care to avoid burns or injuries.)
- May cause fire or electric shock.



Caution



Do not place handset, Battery or AC Charger on an unstable surface.

May fall, causing injury or malfunction. Take extra precautions while Vibration is active or during charging.



Keep handset and related hardware out of the reach of young children and pets.

May result in accidental ingestion or injury.



If for use by child, guardian should teach proper handling and ensure handset and related hardware are used as directed.

May result in injury.

Battery



Danger

See Battery label to confirm battery type.

Label	Battery Type
Li-ion 00	Lithium-ion



Do not throw Battery into fire.

Battery may leak, explode or ignite.



Do not pierce Battery with a nail or other sharp object, hit it with a hammer, step on it, or subject it to strong shock.

Battery may leak, overheat, explode or ignite.



Do not touch terminals with metallic objects or carry/store Battery with conductive objects (pencil leads, metal parts, necklaces, hair pins, etc.).

Battery may leak, overheat, explode or ignite.



If Battery fluid gets into eyes, do not rub. Flush with clean water and see a doctor immediately.

Failure to do so may cause blindness.



Warning



If Battery fluid comes into contact with skin or clothing, stop handset use immediately and rinse fluid off with clean water.

Battery fluid is harmful to your skin.



If Battery does not charge after specified time, stop charging.

Battery may leak, overheat, explode or ignite.



If Battery emits an unusual odor, overheats, discolors or deforms, immediately remove it and keep away from fire. Take care to avoid burns or injuries.

Battery may leak, overheat, explode or ignite.



Do not allow pets to bite or chew on Battery. Also, do not use Battery that has been bitten by pets.

Battery may leak, overheat, explode or ignite. Handset may malfunction.



Caution



Do not dispose of Battery with ordinary refuse.

Tape over terminals to insulate Battery; take it to a SoftBank Shop or institution that handles used batteries in your area. Comply with local waste disposal regulations.

Handset



Warning



Do not use handset while driving a vehicle.

Doing so, even with earphone, may interfere with safe driving and cause an accident. Stop your vehicle to park in a safe place before using handset.

Drivers using handsets while driving are subject to prosecution.



Do not aim Infrared Port at eyes during infrared transmissions.

Doing so may affect eyes.



Power off handset near high-precision electronic devices or devices using weak electronic signals.

Handset may cause these devices to malfunction.

*Electronic devices that may be affected: Hearing aids, implantable cardiac pacemakers, implantable cardioverter defibrillators, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and other automatically controlled devices.



Power off handset aboard aircraft.

Handset signal may interfere with aircraft operation.

When in-flight handset use is permitted, follow airline instructions for proper use.



If you have a weak heart, take extra precautions when setting functions such as Vibration or Volume for incoming transmissions.

May affect heart.



In a thunderstorm, immediately power off handset and seek shelter.

There is a risk of being struck by lightning and suffering electric shock.



Caution



If handset affects car electronics, stop use.

Handset use may affect electronics in some models. In this case, stop use; could impede safe driving.



Do not place a magnetic card near or in handset.

The stored magnetic data in cash cards, credit cards, telephone cards and floppy disks, etc. may be erased.



Do not swing handset by Strap, etc.

Handset may strike you or others, or Strap may be broken resulting in injury or damage to handset or other property.



Do not place your ear too close to Speaker while ringer sounds or sound files play.

May impair hearing.



Do not use handset when it is damaged.

May cause fire, burns, injury or electric shock.



If skin abnormality occurs, immediately stop use and seek medical treatment.

Handset contains metals. Handset use may cause itching, rashes, eczema or other symptoms depending on the user's physical condition.



Handset may become hot while used in a hot environment.

Avoid prolonged skin contact that may result in burns.



Make sure not to trap fingers or objects when opening/closing handset.

May result in injury or damage to Display.



Watch TV with adequate lighting and distance from Display.

May damage eyesight.



Do not turn up Volume unnecessarily high when using earphones.

Using earphones with Volume turned up for an extended period may impair hearing.

AC Charger (Sold Separately)



Warning



Do not cover or wrap AC Charger during charging.
May cause overheating, fire or malfunction.



Always use the specified power supply/voltage.
Using incorrect voltage may cause fire or malfunction.
AC Charger: AC100V-240V (household AC outlet only)
In-Car Charger (sold separately): DC12V, 24V (vehicles with a negative earth only)
Do not use transformer for charging. May cause fire, electric shock or malfunction.



Use In-Car Charger (sold separately) in vehicles with a negative (-) earth. Do not use In-Car Charger if vehicle has a positive (+) earth.
May cause fire.



Do not use AC Charger in thunderstorms.
Risk of electric shock.



Do not expose AC Charger to liquids and high humidity (e.g., precipitation, bath/shower room, restroom, etc.).
May cause fire, electric shock or malfunction.



Do not handle AC Charger with wet hands.
May cause electric shock or malfunction.



If In-Car Charger (sold separately) fuse blows, always replace it with specified fuse.
Using the incorrect fuse may cause fire or malfunction. Refer to the respective manuals for information on the correct fuse specifications.



If dust accumulates on plug, unplug AC Charger and wipe with a dry cloth.
May cause fire.



When plugging AC Charger into AC outlet, keep conductive materials (pencil leads, metal parts, necklaces, hair pins, etc.) away from Desktop Holder terminals or AC Charger plug/terminals and plug AC Charger firmly into AC outlet.
May cause electric shock, short-circuit or fire.



Unplug AC Charger during periods of disuse.
May cause electric shock, fire or malfunction.



If liquid (water, pet urine, etc.) gets into AC Charger, unplug it immediately.
May cause electric shock, smoke emission or fire.



Caution



Do not subject AC Charger to strong force or impact when connecting to AC outlet.
May cause injury or malfunction.



Pull AC Charger (not cord) to unplug AC Charger.
Pulling on the cord may damage the cord and cause electric shock or fire.



Always unplug AC Charger before cleaning it.
May result in electric shock.

Near Electronic Medical Equipment



Warning

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).



If you use an implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator, keep handset more than 15 cm away from the implant at all times.

Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operation.



Persons using electronic medical equipment outside medical facilities should consult the vendor about possible radio wave effects.

Handset radio waves may affect electronic medical equipment operation.



Observe the following in medical facilities. Handset radio waves may affect electronic medical equipment.

- Do not take handset into operating rooms, Intensive Care Units or Coronary Care Units.
- Power off handset inside hospital wards.
- Power off handset even outside hospital wards (in hospital lobbies, etc.); electronic medical equipment may be in use nearby.
- Where a medical facility has specific instructions prohibiting the carrying and use of mobile phones, observe those instructions strictly.



If you are in a crowded place where you cannot move freely and keep a distance of 15 cm or more away from other people, disable handset communication features (e.g. Offline Mode) beforehand or power off handset; implantable cardiac pacemakers and cardioverter defibrillators may be in use nearby.

Handset radio waves may affect implantable cardiac pacemaker or cardioverter defibrillator operation.

Handling Precautions

General Notes

- SoftBank Mobile is not liable for damages from loss of handset/microSD Card information (Address Book entries, image/sound files, etc.) due to accidental loss/alteration/repair of handset. Back up important information.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Read microSD Card manual beforehand for proper use.
- **Beware of eavesdropping.**
Digital signals reduce interception, however, transmissions may be overheard. Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.
"eavesdropping" means radio communication is received by another receiver deliberately or accidentally.
- **Be cautious of unsafe webpages. Take extra precautions especially when posting personal information on webpages.**

Electromagnetic Safety

- For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 10 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

FCC Notice

- **This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:**
(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- **Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.**

RF Exposure Information/Specific Absorption Rate (SAR) Information

This mobile phone 301P meets the MIC's**** technical regulation for exposure to radio waves.

The technical regulation* established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) ** averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the international guidelines recommended by ICNIRP****.

The highest SAR value for this mobile phone is 0.838 W/kg when tested for use at the ear.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet MIC's technical regulation.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 10 mm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection (***).

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:
Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/e/body/index.htm>
Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/index02.html> (Japanese)

* The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** Provided for in "Radio-radiation protection guidelines", reported in 1997 by the Telecommunications Technology Council, Ministry of Posts and Telecommunications.

*** A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

**** Ministry of Internal Affairs and Communications

***** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

Standards of the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S. Government and information from the E.U. are given as information relating to RF exposure. For details, see "FCC RF Exposure Information" and "European RF Exposure Information".

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.046 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.853 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 10 mm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 10 mm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID UCE214060A.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at <http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.774 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this guide**. In this case, the highest tested SAR value is 0.801 W/kg***. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

** Please see Electromagnetic Safety on page xxxiv for important notes regarding body-worn operation.

*** A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

World Health Organization
<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by 3G model
<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

Declaration of Conformity

CE0168

We, Panasonic Mobile Communications Development of Europe Ltd., declare that SoftBank 301P conforms with the essential and other relevant requirements of the directive 1999/5/EC.

A declaration of conformity to this effect can be found at <http://panasonic.jp/mobile/support/>

- This product is only intended for sale in Japan.
- Compliance to the European RTTE directive applies to: SoftBank 301P handset and Battery (PMBBH1).

Handset Care

- Secure External Device Port Cover and Battery Cover before use. Failing to do so may result in malfunction.
 - Malfunction caused by contact with liquids or dust may not be covered by Warranty.
 - Do not open/close External Device Port Cover or Battery Cover in rain or when handset is still wet.
 - Accessories and other optional items are not waterproof or dustproof.
 - Air conditioned air may cause condensation, resulting in corrosion.
-
- If handset is left with no Battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank Mobile is not liable for any resulting damages.
 - Use handset within temperatures of 5°C to 35°C and humidity 35% to 90% (limited use in a bathroom within 36°C to 40°C). Avoid extreme temperatures/direct sunlight.

- Handset may become warm during use or charging. This is not a malfunction.
- Battery may swell as service life nears end. This is not a problem.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Soiled terminals may cause poor connection. If the terminals are dirty, use a dry cloth or cotton swab to wipe them clean.
- Clean handset with a dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Avoid forcefully rubbing or scratching Display.
- Do not subject handset to excessive force.
 - Do not sit down with handset in a back pocket.
 - Do not place heavy objects in a bag with handset inside.
- Do not remove nameplate from handset; doing so invalidates warranty.
- Always power off handset before removing Battery. If Battery is removed while saving or sending mail, data may be altered or lost.
- Display is manufactured with high precision technology, however, some pixels may appear darker/brighter.
- Connect only specified products to External Device Port.
- While walking, moderate earphone volume to make sounds around you audible and help avoid accidents.
- When holding handset in use, do not cover Speaker.

Function Usage Limits

- USIM Card must be installed to use handset.

Multitasking during Calls/Data Transmissions

- Calls/data transmissions incur transmission fees even when other functions/operations are simultaneously in use.

Camera

- Be sure to observe proper etiquette when using Camera.
- Do not expose Camera lens to direct sunlight. Concentrated sunlight through the lens may cause handset to malfunction.
- Be sure to try taking and previewing pictures before using Camera on important occasions like wedding ceremonies.
- Do not commercially use or transfer pictures taken with Camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.
- Do not use Camera in locations where taking photos and recording videos are prohibited.

Bluetooth®

- Connection with all Bluetooth® devices is not guaranteed.
- Handset complies with Bluetooth® security standards. However, this does not ensure complete security.
- SoftBank Mobile is not liable for damages from Bluetooth® transmission data leakage.
- Bluetooth® transmits on the same frequency band as microwave ovens or other industrial/scientific/medical equipment, radio stations, amateur radio stations (hereafter "other radio stations"), etc.
 - 1 Before Bluetooth® use, visually confirm that other radio stations using the same frequency band are not nearby.
 - 2 If interference between handset and other radio stations occurs, move handset or immediately cancel Bluetooth® transmission.
 - 3 For more information, contact SoftBank Customer Support, General Information (☎ P.17-32).

Wireless Frequency Bands

- Bluetooth® frequency band:



- 2.4 GHz band with FH-SS modulation; maximum communication distance is 10 m.
- 2400 – 2483.5 MHz band. Avoiding the frequency band of a mobile unit identification apparatus is not possible.
- When using the Bluetooth® function in other countries, check local regulations beforehand.

Waterproofing/Dustproofing

301P complies with IPX5¹ /IPX7² waterproof standards and IP5X³ dustproof standard (External Device Port Cover and Battery Cover must be secured).

- ¹ Protection against water jets (at approximately 3 meters, through 6.3 mm nozzle, for over 3 minutes at 12.5 liters/minute, from multiple directions)
- ² Protection against seepage when submerged (in still tap water, at room temperature, up to 1 meter deep for approximately 30 minutes)
- ³ Protection against dust (in a device containing dust particles with a diameter of 75 µm or less, agitated for 8 hours)

Note: Complete protection is not guaranteed under all conditions. Read this guide for proper handset use. Malfunctions due to improper handling by the user are not covered by Warranty.

301P use around water (rain, bath, pool, etc.).

Rain

- Talk on handset in moderately heavy rain (rainfall of 20 mm or less per hour).
- Do not use handset in heavy rain (rainfall of 20 mm or more per hour).

Washing Handset

- If handset gets dirty, submerge it in a basin filled with fresh/ tap water at room temperature and gently move handset back and forth, or hold it under gentle running water (about 10 cm from faucet/shower head, 5°C-35°C) and wash by hand.
- Make sure Battery Cover is completely closed. Hold down External Device Port Cover when rinsing handset.
- Do not use brushes, sponges, soaps or detergents.



Pool/Sea

- Do not immerse or drop handset into pool/sea water. Do not use handset underwater.
- If handset is exposed to pool/sea water, immediately rinse with room temperature tap water.



Bathroom

- Do not immerse or drop handset into a bathtub. Do not use handset underwater.
- Do not immerse handset into water containing soap, detergent or bath agents or hot spring water.
- Do not expose handset to strong water flow (strong enough to feel pain on skin).
- Avoid using handset in a bathroom for a prolonged period of time.
- Extreme temperature changes can cause condensation. Wait until handset reaches room temperature before bringing it to a bathroom.



Kitchen

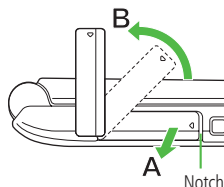
- Do not expose handset to soapy water, detergent, spice, juice, etc.
- Do not expose handset to hot/cold water.
- Do not expose handset to strongly flowing water.

Usage Notes

- **Secure External Device Port Cover and Battery Cover before use. If small particles (fine fiber, hair, sand, etc.) are caught between External Device Port Cover/Battery Cover and handset, seepage may occur.**
- **If handset is exposed to any liquids while External Device Port Cover or Battery Cover is open, electric shock or malfunction may occur. Power off handset.**
- **Do not immerse handset in any liquids other than room temperature fresh/tap water.**
- **Regardless of handset performance, replacing handset parts every two years is recommended. Replace parts at your own expense. Contact SoftBank Customer Support, General Information (☎ P.17-32).**

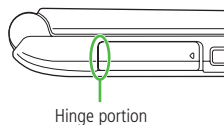
■ Opening External Device Port Cover

- 1 Use notch to pull out (A) and rotate (B) Port Cover.



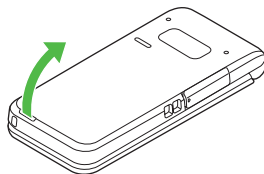
■ Securing External Device Port Cover

- 1 Press down starting at hinge portion.
- 2 Make sure Port Cover is completely closed.



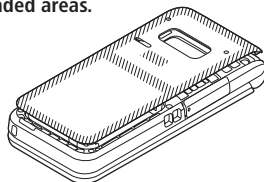
■ Removing Battery Cover

- 1 Use notch to slowly lift and remove Battery Cover.



■ Attaching Battery Cover

- 1 Check orientation of Battery Cover, align Battery Cover with handset, and firmly press the shaded areas.
 - Be sure to check area around Battery Cover (especially rubber seal) for dirt or debris before attaching.
- 2 Make sure Battery Cover is completely closed.



Precautions

■ Handset

- Do not leave handset wet.
 - Doing so may cause short-circuit on External Device Port.
 - Water may leak into hinge. In cold climates, freezing may cause malfunction.
- Do not wash handset in a washing machine.
- Handset is not heat resistant. Do not immerse handset in hot water, use it in a sauna or dry it with hot air (e.g., using a dryer).
- Do not drop handset or subject it to excessive shock. May damage waterproofing/dustproofing.
- Handset does not float.
- Handset is not water-pressure resistant. Do not immerse/expose handset to strongly flowing water.
- Do not place handset directly on beach.
 - Water drops/sand may enter Mic, Receiver or Speaker, impairing Volume. Water/sand inside handset may distort sound.
 - Seepage may occur if sand enters External Device Port Cover or Battery Cover. Rinse sand with water as described.
- Rinse sand/mud off handset. Failure to do so may cause handset malfunction.

■ External Device Port Cover/Battery Cover

- Do not open/close External Device Port Cover or Battery Cover with gloves on. Small particles may adhere to rubber seals.
- Make sure External Device Port Cover or Battery Cover are free of fine fibers after drying.
- Do not remove rubber seals. Do not insert sharp-edged objects into gaps around External Device Port Cover or Battery Cover. Doing so may cause seepage.
- If External Device Port Cover/Battery Cover seals are damaged or deformed, replace with new ones.

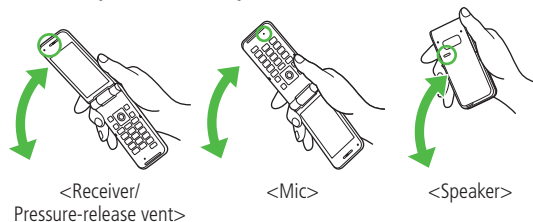
Mic/Receiver/Pressure-release vent/Speaker

- Do not poke Mic, Receiver, Pressure-release vent or Speaker with sharp-edged objects.
- Thoroughly wipe water drops from Mic, Receiver, Pressure-release vent or Speaker to avoid malfunction.

Draining Water from Handset

Even small amounts of water can seep in through hinge, affecting Receiver or Speaker Volume or sound quality. Drain water as follows:

- 1 Wipe water off handset with clean dry cloth.
- 2 Hold handset firmly. Shake handset about 20 times until no water drops come out. Repeat on all sides.



- 3 Pat handset against a clean dry cloth to remove remaining water from Mic, Receiver, Pressure-release vent, Speaker, hinge, etc.

- Do not wipe gaps directly with a cotton swab.



4 Fully drain moisture and then operate handset.

Some water may remain on handset even after above steps are followed. Let handset dry naturally before use. Keep handset away from anything that you do not want to get wet.

Charging Battery

Accessories and other optional items are not waterproof or dustproof.

Observe the following before/after charging:

- Never charge Battery when handset is wet. May cause electric shock or malfunction/fire due to short circuit. Wipe water off handset with clean dry cloth before charging Battery.
- Secure External Device Port Cover after charging.

Copyrights

Portrait Rights

Individuals have the right to refuse being photographed or publication or use of their image. Personality rights, or Right of Publicity, is a form of property right designed to protect celebrity interests that applies to all people. Be careful when using handset Camera. Photographing or distributing the images of others without permission is unlawful.

Copyrights

Sounds, images, computer programs, databases, other copyrighted materials, their respective works and copyright holders are protected by copyright laws. Duplicated materials are limited to private use only. If duplications (including conversion of data types), modifications, transfer of duplicates or distribution on networks are made without permission of copyright holders, it constitutes "Literary Piracy" and "Infringement of Copyright Holder Rights" and a lawsuit for reparations may be filed and may result in criminal punishment. If duplicates are made using handset, please observe the copyright laws. Materials captured with handset Camera are also subject to the above.

- Do not copy, modify, separate from hardware, disassemble, decompile or reverse engineer the whole or part of the software installed in this product without permission of the copyright holder, and do not have any third party do the same, nor utilize any consequences of such deeds.